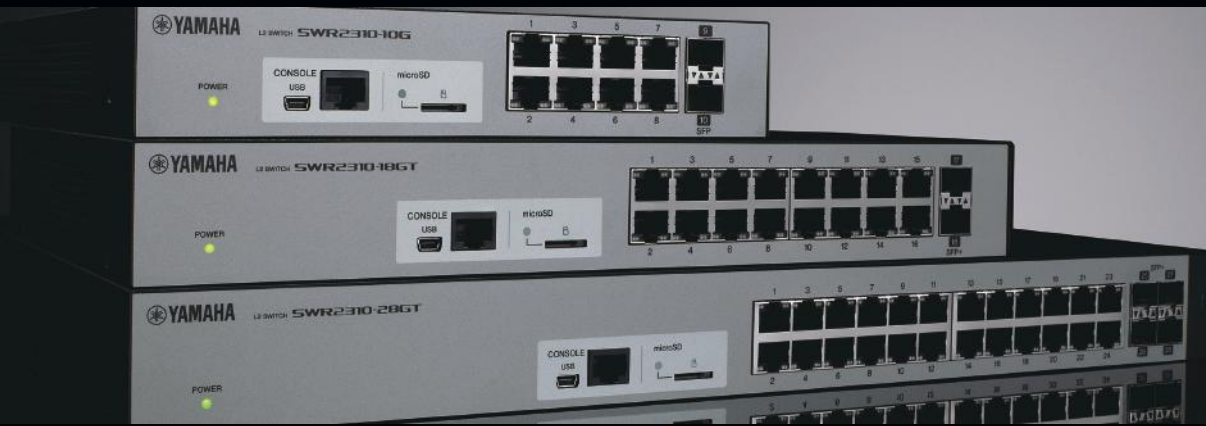


NETWORK SWITCHES

ヤマハは1995年に国内ルーター市場に、2011年にはネットワークスイッチ市場に参入し、中小規模ネットワーク・SOHOを中心とした多くの企業にヤマハ製のネットワーク機器を導入しています。Danteをはじめとしたオーディオネットワークが主流になりつつある近年の音響システムにおいて、その核となるネットワークスイッチの重要性は増々高まるなか、ヤマハは様々なアプリケーションに応じた、安全かつ信頼性の高いオーディオネットワークを構築できるL2スイッチのラインナップを拡充してきました。ライブ現場での運用に最適なetherCONコネクターを採用したSWPシリーズ、設備の規模にあわせてポート数と豊富なオプションが選択可能なSWR2310シリーズ、ネットワークケーブルで電源供給可能なPoEスイッチ、SWRシリーズPモデルなど、IT機器とプロオーディオ機器の両方を知り尽くしたヤマハだからこそ提供できるソリューションです。



SWP2 Series

L2スイッチ

Dante 1U

SWP2-10MMF

- LAN端子 (etherCONフロント×4/リア×6)
- MMF端子 (opticalCONフロント×2) (マルチモードファイバー)



リアパネル

SWP2-10SMF

- LAN端子 (etherCONフロント×4/リア×6)
- SMF端子 (opticalCONフロント×2) (シングルモードファイバー)



リアパネル

「SWP1シリーズ」の操作性と信頼性はそのままに、大規模なDanteネットワークにおける多チャンネル長距離伝送に最適な10Gアップリンクポートを2基搭載したL2スイッチ

- より高速な10Gアップリンクポート*をopticalCON端子で2ポート標準搭載。10Gアップリンクポートを基幹配線で使用することで、大規模なDanteネットワークでの帯域不足を心配せずに運用することが可能。
※10ギガビットイーサネット (10Gbps) のリンクサポート。1ギガビットイーサネットの10倍の速度をサポートしています。
- DipスイッチひとつでDanteに最適化された設定を呼び出すことが可能。難しいネットワーク知識を必要とせず、より安定したDanteネットワークシステムを簡単に構築することが可能。
- 3タイプのVLANプリセットを内蔵し、これらをDipスイッチで簡単に切り替えることが可能。また、USERモードでカスタマイズしたVLAN設定も可能。
- LAN端子にはしっかり繋がりがかつ抜けにくい、堅牢なetherCONコネクタを採用。CL/QLシリーズなどのetherCON採用Dante機器とダイレクトに接続が可能。
- マルチモードファイバー対応の『SWP2-10MMF』、シングルモードファイバー対応の『SWP2-10SMF』の2モデルをラインアップ。端子には仮設用途でも安心のopticalCONを2ポート標準搭載し、MMFで最大約300m、SMFで最大約10kmの長距離伝送をサポート。
- 標準搭載の2ポートを光配線し、リンクアグリゲーションを設定することで基幹回線の二重化が可能になり、スパニングツリー (MSTP) による冗長化にも対応。
※SWP2-10MMFとSWP2-10SMFは規格が異なるため、光接続することはできません。また、MMF同士であっても10Gbpsアップリンクポートと通常の1Gリンクポートも規格が異なるため、光接続することができません。(例: SWP2-10MMFとSWP1-16MMFを光接続する等)
- 専用のPCアプリケーションYamaha LAN Monitorにより、SWP2の情報やDanteのネットワーク全体を監視。ネットワークを「見える化」することで、より快適な管理・運用を実現。
- 電源部ではVロック対応のAC IN端子を採用。さらに別途XLR-4-32タイプのEXT DC INPUT端子も装備し、オプションの『PA-700』を使用することで本体電源の二重化が可能。

SWP2 Series

主要規格

Model	SWP2-10MMF	SWP2-10SMF
LANポート数 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T, etherCON connector)	10	
SFP+ポート数 (10GBASE-SR, opticalCON DUO connector)	2	0
SFP+ポート数 (10GBASE-LR, opticalCON DUO connector)	0	2
コンソールポート	1ポート (RJ-45)	
オートネゴシエーション	○	
MDI/MDI-X自動切替	○	
ティップスイッチ	CONFIG, VLAN PRESET	
状態表示ランプ (前面)	POWER, LED MODE×4 PORT×10×2 ^{※1} , SFP+×2×2	
動作温度範囲	0~40°C	
保管温度範囲	-20~60°C	
電源 (AC IN端子)	AC100V-240V, 50/60Hz, 電源内蔵 (電源スイッチなし) 電源インレットロックタイプ	
電源 (EXT DC INPUT端子)	24VDC±2V, 0.78A以上, XLR-4-32 type Connector	
最大消費電力、最大消費電流	21W, 0.35A	
熱放散	18.5kcal/h	
筐体	金属筐体、ファンレス	
環境負荷物質管理	RoHS対応	
寸法・質量 (付属品含まず)	480W×44H×362D mm・4.5kg	
付属品	電源コード、取扱説明書	
オプション	PA-700 (2重化用電源アダプター/EXT DC)	
エネルギー消費効率 (W / (Gbit/s))	A区分 0.5 ^{※2}	
最大実効伝送速度 (Gbit/s)	30	
測定時ポート速度とポート数	1Gbit/s : 10, 10Gbit/s : 2	
電波障害規格	VCCIクラスA	

※1: PORTのインジケータは、LED MODEボタンによりLINK/ACT・SPEED、STATUS、VLAN設定を切り替えて表示します。
 ※2: 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づくスイッチのエネルギー消費効率です。

インターフェース仕様

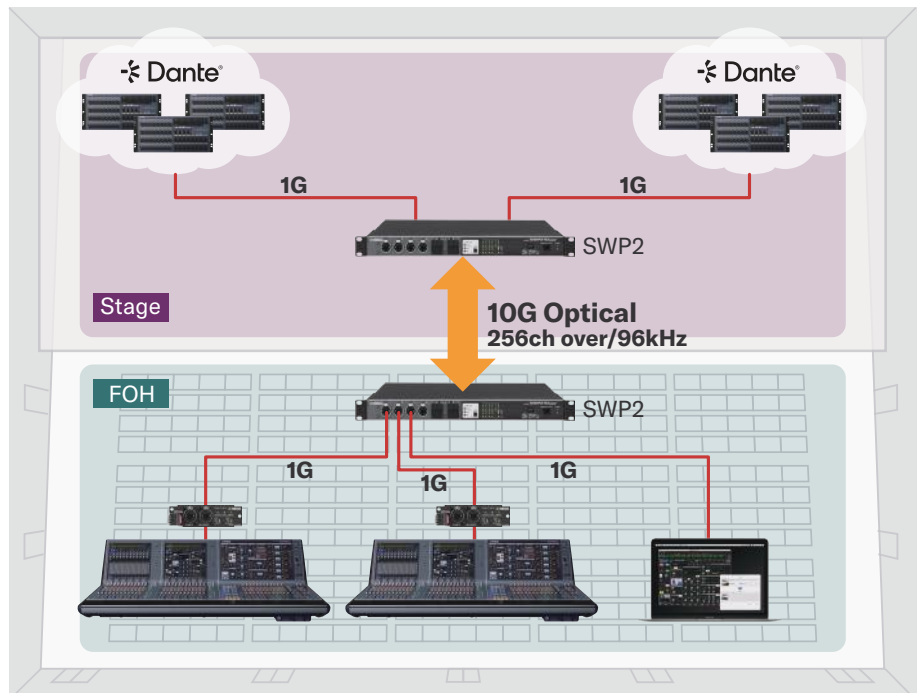
端子名称	フォーマット	レベル	使用コネクタ
1-10 ^{※1}	IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	etherCON CAT5e
11, 12 ^{※2}	IEEE802.3ae	10GBASE-SR: SWP2-10MMF, 10GBASE-LR: SWP2-10SMF	opticalCON
CONSOLE (RS-232C)	-	RS-232C	RJ-45 ^{※3}
EXT DC INPUT	-	-	XLR-4-32 type ^{※4}

※1. AutoMDI/MDI-X 対応
 ※2. 適合線材・SWP2-10MMF: G型のコア径/クラッド径が約50μm/125μmのマルチモードファイバーケーブル、最大ケーブル長 300m
 ・SWP2-10SMF: SM型のコア径/クラッド径が約9μm/125μmのシングルモードファイバーケーブル、最大ケーブル長 10km
 ※3. ピンアサインはピン配置を参照
 ※4. 4pin=+24VDC, 1pin=GND, 2, 3pin=N.C. 外部電源要求仕様: 24VDC±2V, 0.78A以上

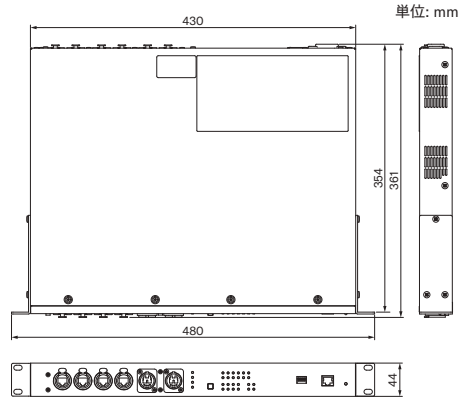
システム例

256ch/96kHzを超える多チャンネル伝送が想定される大規模Danteネットワークを構築する場合

基幹配線となるネットワークスイッチ間の接続において、256ch/96kHzを超える多チャンネル伝送が想定される大規模なDanteネットワークシステムになると、従来のリンクポート速度 (1Gbps) では帯域が不足する場合があります。このようなケースでは、SWP2シリーズに搭載されている10Gアップリンクポートを基幹配線となるネットワークスイッチ間の接続に使用することで、帯域不足を心配せずにシステムを運用することが可能です。



寸法図



オプション

PA-700 ACアダプター

- SWP2, SWP1, RSio64-Dの電源を二重化運用するためのACアダプター。



入力電圧: AC100-240V
 出力電圧: DC24V
 XLR4-11Ctypeコネクタ
 寸法: 139.0W×31.3H×68.2D mm
 *ケーブルを除く
 対応機種: L2スイッチ「SWP2シリーズ」「SWP1シリーズ」、I/Oラック「RSio64-D」(スタジオモニター管理システム「MMP1」は非対応)

SWP1 Series

L2スイッチ

Dante® 1U

SWP1-16MMF

- LAN端子 (etherCONフロント×4/リア×8, RJ45 リア×4)
- MMF端子 (opticalCONフロント×1, Blankフロント×1)



SWP1-8MMF

- LAN端子 (etherCONフロント×4/リア×4)
- MMF端子 (opticalCONフロント×1, Blankフロント×1)



SWP1-8

- LAN端子 (etherCONフロント×4/リア×4)
- MMF端子 (Blankフロント×2)



オーディオネットワークシステムをDipスイッチひとつでDanteに最適化。

PCソフトウェアによりネットワークを可視化し、監視・管理・運用が快適に行えるL2スイッチ

- DipスイッチひとつでDanteに最適化された設定を呼び出すことが可能。
難しいネットワーク知識を必要とせず、より安定したDanteネットワークシステムを簡単に構築することが可能。
- 3タイプのVLANプリセットを内蔵し、これらをDipスイッチで簡単に切り替えることが可能。また、USERモードでカスタマイズしたVLAN設定も可能。
- PCソフトウェア Yamaha LAN Monitorにより、SWP1の情報やDanteネットワーク上のすべてのDante機器を含めたネットワーク全体を監視。ネットワークを「見える化」することで、より快適な管理・運用を実現。
- LAN端子にはしっかり繋がりがつかない、堅牢なetherCONコネクタを採用*。
CL/QLシリーズなどのetherCON採用Dante機器とダイレクトに接続が可能。*SWP1-16MMFにはRJ-45端子も装備。
- 最長300mの長距離伝送にも対応する、マルチモード光ファイバー対応のopticalCONコネクタを標準装備*。*SWP1-8MMF、SWP1-16MMF。
- オプション品の光ファイバーモジュールMMF-SWP1を追加し光ケーブルを2本這わせることで、基幹回線を2重化することが可能。
また、スパンニングツリー (RSTP) による冗長化にも対応。
- 本体にはAC IN端子に加えXLR-4-32タイプのEXT DC INPUT端子を装備し、オプションの『PA-700』を使用することで本体電源の二重化が可能。
またAC IN端子もラッチによるロック機構 (Vロック) を装備し、電源コードが意図せず外れてしまうのを防止。

主要規格

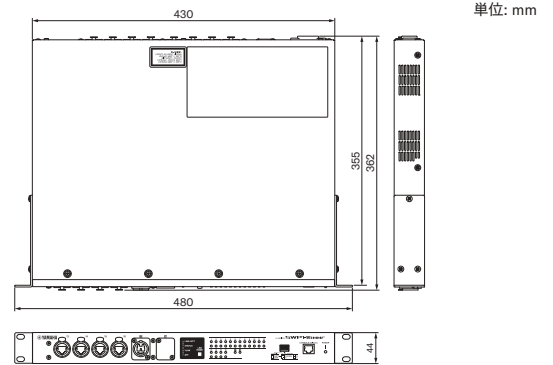
Model	SWP1-16MMF	SWP1-8MMF	SWP1-8
電源電圧	AC100V-240V、50Hz/60Hz Internal power supply (no power switch)		
消費電力	16W	11W	11W
寸法・質量	480W×44H×362Dmm・4.6kg	480W×44H×362Dmm・4.2kg	480W×44H×362Dmm・4.2kg
付属品	電源コード、取扱説明書		

入出力規格

端子名称	フォーマット	レベル	使用コネクタ
1-8 ^{※1} 1-8、13-16 ^{※2}	IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	etherCON CAT5e
9-12 ^{※2} 9-12	IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	RJ-45
9、10 ^{※4} 17、18 ^{※5} 7	IEEE802.3	1000BASE-SX	opticalCON
CONSOLE (RS-232C)	-	RS-232C	RJ-45
EXT DC INPUT	-	-	XLR-4-32 type ^{※6}

※1. SWP1-8MMF, SWP1-8
 ※2. SWP1-16MMF
 ※3. AutoMDI/MDI-X 対応
 ※4. SWP1-8MMFではポート9、10にもオプション対応、SWP1-8ではポート9、10にもオプション対応
 ※5. SWP1-16MMFではポート18はオプション対応
 ※6. 4pin=+24VDC、1pin=GND、2、3pin=N.C.、外部電源要求仕様: 24VDC±2V、1A
 ※7. 適合線材: G1型のコア径/クラッド径が約50μm/125μmのマルチモード光ファイバケーブル、最大ケーブル長: 300m

寸法図



オプション

PA-700 ACアダプター

- SWP1の電源を二重化運用するためのACアダプター



MMF-SWP1 光端子拡張ユニット

- SWP1シリーズの専用スロットにopticalCON端子でのマルチモード光モジュールを追加するためのオプションキット。

SWP1シリーズへのMMF-SWP1取付は、弊社サービスセンターにて行っております。詳細は下記修理ご相談センターにお問い合わせください。

※ 標準納期: 発注から約2週間

ご購入後の取付サービスを希望される場合には、下記の修理ご相談センターにご相談ください。また、MMF-SWP1本体は別途ご購入いただく必要がございます。

<修理ご相談センター>

固定電話向け: ☎ 0120-149-808 携帯電話/IP電話: 050-3852-4106
 受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定定休日を除く)



FAXでのお問い合わせ

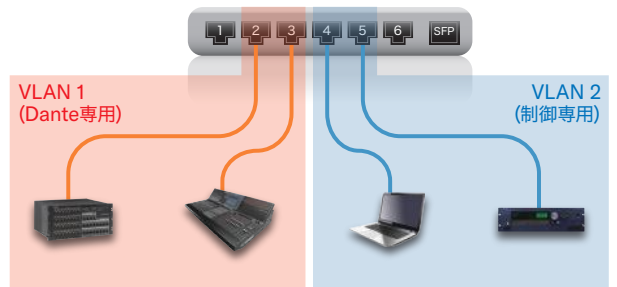
東日本地域: 03-5762-2125 (北海道、東北、関東、甲信越、東海 地域)
 西日本地域: 06-6649-9341 (北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄 地域)

ネットワークスイッチを理解するための基礎用語
 ~VLANとトランクについて

■VLANとは?

Virtual Local Area Networkの略です。物理的な接続とは別に仮想的なネットワークを構成します。複数の異なる種類のネットワークがある場合に、VLANを設定することにより物理的には同じスイッチを共有して、論理的には別のネットワークを構成することができます。例えば右図のように、同一のスイッチ内で機器のコントロールラインと音声ラインを分けて使用することができます。Danteのプライマリーとセカンダリーを同一スイッチ内のVLANで分けることも可能ですが、その場合はスイッチ自体のリダンダンシー(冗長性)を確保できないため推奨されません。

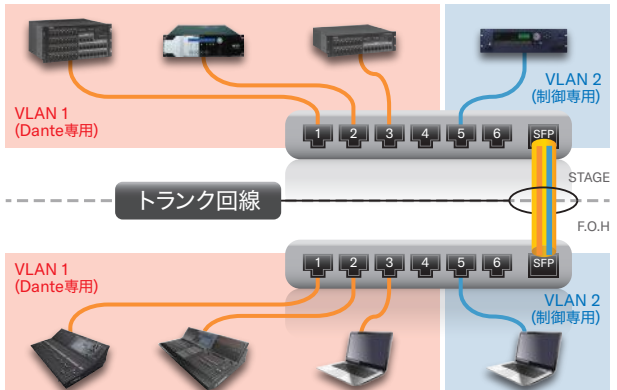
なおVLANには端子ごとに物理的な回線でグループを構成する「ポートベースVLAN」と、イーサネットフレームにタグを付けてVLANグループを識別する「タグVLAN」があります。SWP1のVLANプリセットのAとBではタグVLANを使用しています。



■トランクとは?

複数VLANにタグを付けて1本の回線で送受信する機能です。PCのコントロールラインとDanteの音声ラインをVLANで仮想的に分離した場合、スイッチ間もそれぞれ別のケーブルを引かなくてはなりません。しかしVLANにタグを付けてトランク回線を設けることで、スイッチ間の伝送をケーブル1本で行うことができます。右図では、FOH側のVLAN1のデバイスから送出されたパケットはSFPポートに設定されたトランク回線を通り、STAGE側のSFPポートに到着します。このパケットにVLAN1のタグがついていれば、STAGE側のVLAN1のデバイスにのみパケットが分配されることとなります。

トランクを使用するためにはスイッチ内部の設定を変更する必要がありますが、SWP1/SWP2シリーズではVLANプリセットを呼び出すことで簡単にトランクを使用することが可能です。VLANプリセットのデフォルトの設定状態はモデルにより異なります。



SWR2310 Series

L2スイッチ

Dante®

SWR2310-28GT

1U



リアパネル

SWR2310-18GT

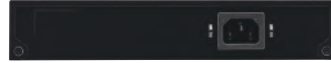
1U (W330mm)



リアパネル

SWR2310-10G

1U・1/2 幅 (W220mm)



リアパネル

Danteを使用する設備に最適なインテリジェントL2スイッチ。10Gアップリンクポート搭載モデルを含む3モデルをラインナップ

- SWR2310-28GTとSWR2310-18GTは10Gアップリンクポート (SFP+ポート) を搭載。96kHzで多チャンネルを扱う大規模Danteネットワークを容易に構築可能。
- Dante最適化機能により、大規模Danteネットワークにおける安定動作を実現。
- 優れたセキュリティ機能に対応し、不正なユーザーやデバイスの接続を制限。

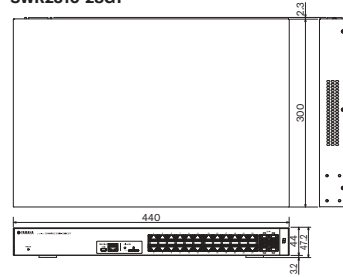
主要規格

Model	SWR2310-28GT	SWR2310-18GT	SWR2310-10G
LANポート	規格 IEEE 802.3 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)		
ポート数	24	16	8
通信モード	オートネゴシエーション		
コネクタ	RJ-45		
極性	ストレート / クロス自動判別またはストレート固定		
SFP+ポート	規格 IEEE 802.3ae (10GBASE-SR/10GBASE-LR), IEEE 802.3z (1000BASE-SX/1000BASE-LX)		
ポート数	4	2	-
SFPポート			規格 IEEE 802.3z (1000BASE-SX/1000BASE-LX)
ポート数	-	-	2
コンソールポート	規格 RS-232C、USB 2.0		
コネクタ種別	RJ-45、mini-USB Type B (5ピン)		
データ転送速度	9600 bit/s		
microSDスロット	規格 microSD/microSDHC (microSDXCは非対応)		
ファイルシステム	FAT/FAT32		
インジケータ	POWER、microSD、STACK ID、LAN port (LINK/ACT、SPEED)、SFP+ port (LINK/ACT、SPEED)	POWER、microSD、LAN port (LINK/ACT、SPEED)、SFP+ port (LINK/ACT、SPEED)	POWER、microSD、LAN port (LINK/ACT、SPEED)、SFP port (LINK/ACT、SPEED)
MACアドレス	本体上面の製品ラベルに表示		
動作環境条件	周囲温度 0~50°C、周囲湿度 15~80% (結露しないこと)		
保管環境条件	周囲温度 -20~60°C、周囲湿度 10~90% (結露しないこと)		
電源電圧、周波数	AC100 - 240V、50/60 Hz 付属の電源コードを使用する場合は、日本国内AC100Vのみ使用可能		
最大消費電力	25.2W	19.0W	11.7W
寸法 (突起物、レグを含まず)	440W×44H×300D mm	330W×43.5H×200D mm	220W×40.5H×250D mm
質量 (付属品含まず)	3.9kg	2.1kg	1.7kg
付属品	取扱説明書、電源コード (3極プラグ)、電源コード抜け防止金具、レグ 19インチラックマウント用金具&ねじ		

寸法図

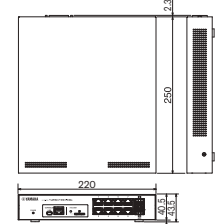
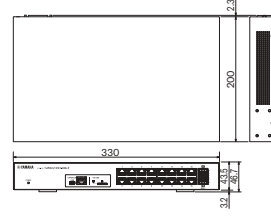
SWR2310-28GT

単位: mm



SWR2310-18GT

SWR2310-10G



オプション

品名	SFPモジュール	SFPモジュール	SFPモジュール	SFPモジュール	ダイレクトアタッチケーブル(3m)	ダイレクトアタッチケーブル(1m)	ラックマウントアクセサリ	ウォールマウントアクセサリ
品番	SFP-SWRT-LR	SFP-SWRT-SR	SFP-SWRG-LX	SFP-SWRG-SX	DAC-SWRT-3M	DAC-SWRT-1M	RK-SWR	WK-SWR
規格	10GBASE-LR	10GBASE-SR	1000BASE-LX	1000BASE-SX	詳細: スイッチ同士を手軽に10Gbpsで接続可能なSFP+ スロット用ケーブル。3mと1mの2種類を用意。		詳細: 19インチラックに2台まで設置可能なSWRシリーズ用ラックマウントオプション。	
適合ケーブル	シングルモード光ファイバー	マルチモード光ファイバー	シングルモード光ファイバー	マルチモード光ファイバー			詳細: 壁や高さ2m以下の天井に取付可能なオプション金具。※LAN端子側を上や下向きにして設置しないでください。	
延長距離	最大10km	最大300m	最大10km	最大300m				
コネクタ形状	2芯LCコネクタ	2芯LCコネクタ	2芯LCコネクタ	2芯LCコネクタ				
対応機種	SWR2310-28GT / SWR2310-18GT		SWR2310-28GT / SWR2310-18GT / SWR2310-10G / SWR2311P-10G		SWR2310-28GT / SWR2310-18GT		SWR2310-10G / SWR2311P-10G	

SWR2311P-10G / SWR2100P Series

L2スイッチ



SWR2311P-10G

☞ Dante® 1U・1/2幅 (W220mm)



リアパネル

Danteに最適な機能を持ち、ネットワーク上の機器にPoE給電が可能なインテリジェントL2スイッチ。

- Danteネットワーク環境において、設定・監視・管理・運用を簡単に行え、PoE給電が可能なインテリジェントL2スイッチ。
- より高出力なPoE給電が必要なスピーカーシステム「VXL1B-16P」「VXL1W-16P」を駆動するのに十分な給電能力を装備し^{※1}、ウォールマウントコントローラー「MCP1」やワイヤレスアクセスポイントなどのPoE対応機器にも対応。
- 「VXL1B-16P」「VXL1W-16P」をSWR2311P-10Gと接続すると、LLDP^{※2}を利用して、Danteに最適な設定を自動的に設定。
- 専用ソフトウェア「Yamaha LAN Monitor」を用いて、ネットワークポロジー（接続形状）を可視化し、各スイッチとDante対応機器の接続状況の確認が可能。
- WebGUIによる可視化機能「LANマップLight」を搭載し、コマンド入力による設定ではなく、グラフィカルな画面でスイッチの設定が可能。
- 内部に蓄積したデータのバックアップやファームウェアの起動・更新手段として、microSDカードが使用可能。
- 遠距離通信用SFPモジュール（光ケーブル接続）を使用することで、長距離通信における信頼性を提供。

※1. PoE対応ポートは全ポート同時に最大1ポートあたり30Wの給電に対応。
 ※2. LLDP=隣接機器と自身の機器との間で、装置の管理情報を受け渡すためのプロトコル。

主要規格		SWR2311P-10G	
PoE給電機能	規格	IEEE 802.3 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)	
	ポート数	8ポート	
LANポート	通信モード	オートネゴシエーション	
	コネクタ形状	RJ-45	
	MACアドレス	天面印刷部に記載	
	極性	ストレート/クロス自動判別	
コンボポート	LANポート	IEEE 802.3 (1000BASE-T) 2ポート (SFPポートと排他使用)	
	SFPポート	SFP (Small Form-factor Pluggable) 2ポート (LANポートと排他使用)	
PoE	規格	IEEE 802.3at	
	給電方式	Alternative A	
	最大給電電力	30W / ポート、240W / 装置全体	
microSD	規格	SD/SDHC	
	スロット	1スロット	
CONSOLE	規格	RS-232C、USB 2.0	
	ポート	コネクタ形状	RJ-45、USB mini-B (5pin)
	データ転送速度	9600 bit/s	
インジケータ		POWER、microSD、LED MODE、LANポート、SFPポート	
省エネ法	区分名	A	
表示事項	エネルギー消費効率	1.2W / (Gbit/s)	
	最大実効伝送速度	10.0 Gbit/s	
	測定時ポート速度 (ポート数)	1 Gbit/s (10ポート)	
電源電圧、周波数		AC100 ~ 240V、50/60Hz	
最大消費電力		280W	
寸法・質量 (突起物、レッグ、付属品含まず)		220W×42.4H×294D mm・2.3kg	
付属品		電源コード (3極プラグ)、電源コード抜け防止金具、レッグ	

オプション

RK-SWR

ラックマウントアクセサリ



- 19インチラックに2台設置可能
- ※ラックマウントアングルの間が452mm以上のラックをご使用ください。
- ・寸法・質量：482.6W×44H×300D mm・1.7kg

SFP-SWRG-SX

SFPモジュール



- 1000BASE-SXに対応し、最大550mの接続が可能
- ※マルチモード光ファイバーケーブルの使用を前提とします。
- ・適合規格：IEEE802.3z、1000BASE-SX
- ・適応ケーブル：マルチモード光ファイバー (50/125μm、62.5/125μm)
- ・コネクタ形状：2芯LCコネクタ
- ・光波長：850nm

WK-SWR

ウォールマウントアクセサリ



- 壁や高さ2m以下の天井に取り付け可能
- ・寸法・質量：249W×3.3H×270D mm・0.37kg
- (マウント金具、同梱のネジを含む)
- ※LANポート側を上向きや下向きに設置しないでください。

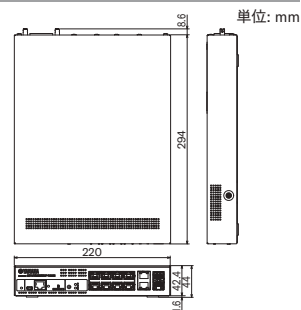
SFP-SWRG-LX

SFPモジュール



- 1000BASE-LXに対応し、最大10kmの接続が可能
- ※シングルモード光ファイバーケーブルの使用を前提とします。
- ・適合規格：IEEE802.3z、1000BASE-LX
- ・適応ケーブル：シングルモード光ファイバー (9/125μm)
- ・コネクタ形状：2芯LCコネクタ
- ・光波長：1,310nm

寸法図



L2スイッチ



SWR2100P-10G

☞ Dante® 1U・1/2幅 (W220mm)



リアパネル

ネットワーク内のPoE機器に給電可能。シンプルなL2スイッチ。

- 別売のページングステーションマイクロフォンPGM1などのPoE機器に電源供給が可能な、シンプルなL2スイッチ。
- 専用ソフトウェアによりネットワークの可視化と監視が可能。
- 別売のラックマウントアクセサリRK-SWRを用いて19インチラックにラックマウント可能。

主要規格		SWR2100P-10G
電源電圧		100-240V、50Hz / 60Hz
最大給電電力	1ポートあたり	30W (接続した受電機器の消費電力クラスにより異なります)
	全ポート合計	70W
消費電力		90W
寸法・質量 [※]		220W×43.5H×252Dmm・1.8kg
付属品		取扱説明書、電源コード (3極プラグ)、電源コード抜け防止金具、レッグ

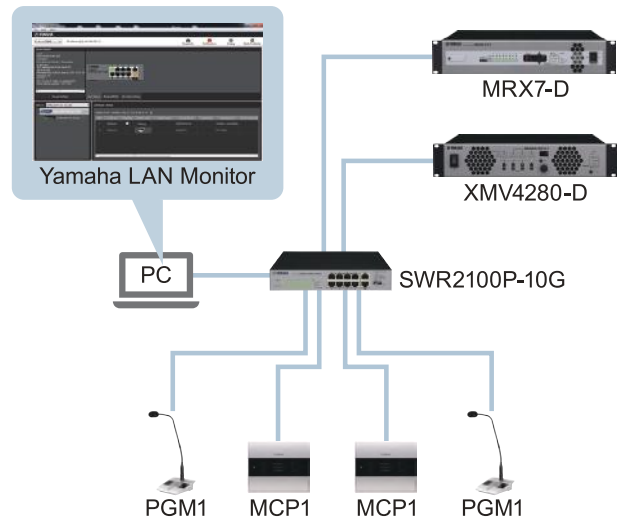
※突起物・付属品を含む

Yamaha LAN Monitor

ネットワークの可視化と監視が可能な PCソフトウェア「Yamaha LAN Monitor」

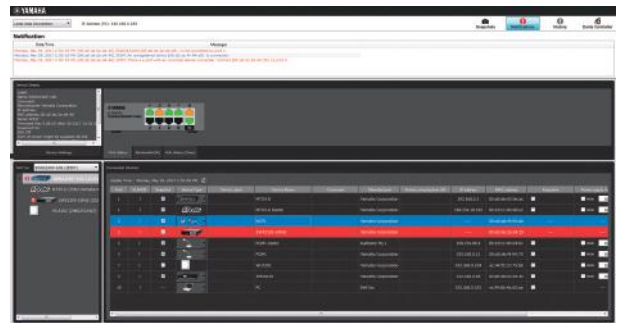
「Yamaha LAN Monitor」を用いて、ネットワークトポロジー（接続形状）を可視化し、各スイッチとDante対応機器の接続状況を確認できます。L2スイッチ「SWPシリーズ」「SWRシリーズ」にPCを接続して「Yamaha LAN Monitor」ソフトウェアを立ち上げるだけで、ヤマハスイッチ、ヤマハ無線LANアクセスポイントのポートの状態、帯域使用量、PoE給電状態などを確認できます。

※Yamaha Audio Network Monitor はYamaha LAN Monitor に統合しました。



トラブルシューティングに役立つ スナップショット機能

スナップショット機能により、機器導入時のネットワーク状況を保存することができます。一度スナップショットを保存すれば、その後は継続的に設定を監視し、保存されたスナップショットとの比較を行います。ケーブルが抜けている、機器の電源が落ちている、接続方法が誤っている、など状況に差異があった場合、異常と見なして通知します。このため、速やかにトラブルシューティングを行うことができます。



アイコン、ラベル等で分かりやすく表示

IPやMACアドレスだけでスイッチの接続機器を認識するのは難しく、トラブルの原因にもなります。「Yamaha LAN Monitor」上では、Dante機器にDanteアイコンを表示したり、事前に「Dante Controller」ソフトウェアで設定したデバイスIDを表示することができます。さらに、ラベルやコメント欄に機器の設置場所をメモしておくこともできます。



遠隔地より、端末の動作確認と給電制御が可能

監視下の機器にPingを送り、反応しなければ異常と判断し自動でPoE給電を停止・再開します。その後自動で監視を再開し、ネットワークの修復を試みます。機器のステータスを包括的に管理することで、機器のメンテナンスもスムーズに行うことができます。

